2024 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

ファイナル特集

人々が集い、会話と笑顔が生まれる憩いの場へ
花とみどりに囲まれた喜びと安らぎを共に

2009年にスタートし、今年16年目を迎えた「あしたのみどりキャンペーン」は、市民・企業・行政が一体となり、杜の都のみどりを未来につないでいくことを目的に展開しています。今回は、みどりを育むために花壇づくり支援を希望した学校・地域・団体の中から、みどりをきっかけに、学びや地域交流を目指す幼稚園と市民グループの皆さんによる花壇づくりの様子をご紹介します。

子どもたちの成長を見守る花とみどりの花壇

宮城教育大学附属幼稚園

園児や小・中学生にも親しまれる心和む花壇に

仙台市の市街地北部、青葉区上杉に立つ宮城教育大学附属幼稚園は、宮城教育大学附属小学校・中学校に隣接し、100名余りの園児が元気に過ごしています。園庭は、ウメやサクラ、モミジなどのさまざまな樹木に囲まれ、花々のプランターなどが並び、みどり豊かな環境が広がっています。今回、あしたのみどりキャンペーンで花壇づくり支援を行ったのは、園舎の西側に位置するゲゲなどの樹木が植えられたスペースで、樹木を花々で取り囲むように整備することになりました。同園の水野裕也園長は「新しい花壇の場所は、附属小・中学校の通学路にも面しています。樹木の周囲を花でいっぱいにして、園児だけでなく、多くの小・中学生や保護者にも親しまれる、心和む花壇ができたらうれしい」と花壇づくりに込めた思いを話します。

「花と触れ合う中で、園児もたくさん学んでいます」と語る伊藤右子（ゆう）教諭

緑化活動を通して子どもの心の成長見守る

街路樹が色付き始めた10月23日、朝から花壇づくりがスタートしました。キャンペーンの協力者で、花壇のマスタープラン考案者でもある「花と緑の力で3・11プロジェクト（花プロ）」の鎌田秀夫さんと、市民グループ「杜の花パレット」の皆さんがボランティアとして花壇づくりをサポートします。手始めは、花苗を植えるために新しい土を盛り、その周りにレンガを並べ、土留めをする作業を行いました。皆さんの手際の良い作業のおかげで、あっという間にふかふかの盛り土が完成。次に、飛び石状にレンガを置いてメンテナンスに便利な足場を作ると、保護者の皆さんも加わり、樹木の周囲を中心にアスターやクリスマスローズなどの多年草をはじめ、スイセン、チューリップなどの球根を植えていきました。土留めのレンガに沿ったスペースは、園児たちが担当、鎌田さんやボランティアから植え方を教わり、次々にビオラの苗を植えました。30分もすると淡い色合いのビオラと多年草や樹木の緑が調和する、優しいイメージの花壇が完成しました。

花植え作業を終えて、園児のゆうきつかささんは「植えたお花がとてもかわいいと思った」、ひるまあかねさんは「これからもきれいなお花がいっぱい咲いてほしい」と、笑顔を見せてくれました。普段から園庭で植物を育てたり、寄せ植えプランターを作ったりするなど、「お花屋さんごっこ」を楽しんでいるという園児の皆さん。同園の伊藤右子教諭は「園児たちは、こうした遊びや体験から自然の豊かさや限りある生命の大切さを学んでいるようです。これからも花壇のお世話をすることが、一人一人の心の成長につながったらいいですね」と話します。みんなで造り上げた花とみどりの花壇は、園児の健やかな成長を見守りながら、巡りくる季節の風景を描いていくことでしょう。

完成した花壇とともにみんな笑顔で記念撮影。樹木の足元がとてもにぎやかになりました

「花と緑の力で3・11プロジェクト（花プロ）」の鎌田秀夫さんから、苗の植え方を教わる園児の皆さん。表情は真剣そのもの

花壇の土台作りは「花プロ」と「杜の花パレット」が担当

ビオラの苗を一生懸命植えてくれたひるまあかねさん（左）とゆうきつかささん

円球型のレンガの周りに、ビオラを手際よく植えていく園児と保護者の皆さん

季節の花をきっかけに新たな会話が生まれるスポット

西公園を遊ぼうプロジェクト

西公園の花の名所「花の歩話人（ほわと）ロード」を再生

1875年（明治8年）の開園以来、市民の憩いの場として親しまれている西公園。公園の東側、イチョウやヒマラヤスギの木立ち沿いに続く「花の歩話人（ほわと）ロード」は、市民グループ「西公園を遊ぼうプロジェクト」が発案し、維持管理を行う憩いのスポットです。春になれば黄色のスイセンの花が小道の両側に咲きそろい、訪れる人の目を楽しませてきました。2019年に約1万個のスイセンの球根が植えられ、毎春たくさんの花を付けていましたが、元々日当たりが良くない上に、夏の猛暑や大雨の影響もあり、生育不良の球根が増え、花付きもまばらな状態となっていました。今回、あしたのみどりキャンペーンでは、スイセンの球根を掘り起こして土壌改良を行い、再び植え付ける作業を支援。来春以降、再びたくさんの花を咲かせることを目指します。

幸せカラーの「黄色」で訪れる人に元気と安らぎを

イチョウの葉が舞い散る11月25日、歩話人ロードには、スイセンの植え替え作業のために30人を超えるボランティアが駆けつけました。参加したのは、西公園を遊ぼうプロジェクトのメンバーに加え、西公園プラレーパークの会、大町フラワー会、サンポランティア、杜の花パレット、西公園ラジオ体操クラブなど、近隣で活動する市民グループと新聞で作業のことを知り集まってくれた皆さん、仙台市職員の皆さんです。

最初に、花プロの鎌田秀夫さんから、球根の状態や作業手順についてレクチャーを受け、スコップやくわを手に土を掘り返す作業が始まりました。最初の植え付けから6年ほど経過し、土が固くなっている場所もありましたが、スイセンの球根を慎重に手で掘り出していきました。参加したボランティアの中には、普段から花やみどりの育成に携わる人も多く、分担しながら手際良く作業が進みます。休憩を挟み、後半は堆肥や燻炭などを混ぜた新しい土を一輪車で運び、掘り返した土に混ぜ、栄養たっぷりのふわふわの土壌を作りました。全体的に同じ高さになるよう土をならした後、スイセンが咲く姿を想像しながら、効率的な配置で球根を植え付けていきました。

ボランティアの皆さんとともに作業した「西公園を遊ぼうプロジェクト」代表の白川由利枝さんは、「これまで人手が足りずできなかった球根の掘り起こし作業を、近隣の皆さんと一緒にできたのはうれしい。草取りや水やりなど大変な面もありますが、たくさんの人に喜んでもらえるよう今後も活動を続けていきたい」と笑顔で話します。

花やみどりを介し、人々が散策や会話を楽しむ小道となるようとの願いを込め、名付けられた「花の歩話人ロード」。輝くような黄色のスイセンを眺めながら、人々が語らう春が再び訪れることでしょう。

今後もあしたのみどりキャンペーンは、みどり豊かな杜の都であり続けることを願い、市民一人一人にみどりがもたらす潤いや交流の輪をさらに広げていくことを目指し、花壇づくりの支援など、活動を続けていきます。

イチョウの葉が舞い散る中、みんなで記念撮影。来春、たくさんのスイセンに再会できることを待ち望んでいます

球根の植え替え作業の前に、歩道に積もった落ち葉を清掃

来年150年を迎える西公園。歩話人ロードのスイセンが花を添えてくれることでしょう

固くなった土を掘り返し、掘り出した球根を再び新しい土へ。手間のかかる作業も分担して効率的に進めました

「西公園の花やみどりに触れ合い、季節を楽しんでほしい」と語る、西公園を遊ぼうプロジェクト代表の白川由利枝さん

たくさんの投稿ありがとう！

わたしの好きな「みどりのある風景」

あしたのみどりキャンペーンは、特設サイトにおいて、宮城県内のわたしの好きな「みどりのある風景」を募集。その結果1,261点もの写真をお寄せいただきました。たくさんの投稿ありがとうございました。今回のファイナル特集では、その中から一部を紹介します。

各写真の紹介文は新聞表記基準に合わせ、一部を修正している場合があります。

鳴子峡…（大崎市）
だんだんと霧が晴れて、鳴子峡の絶景が姿を現します。
（2024年10月撮影）by：K.Suzuki さん

みちのく杜の湖畔公園…（川崎町）
丸々としたコキアが真っ赤になりました。
（2024年10月撮影）by：CHIYOKO さん

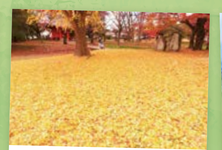
長老湖…（七ヶ宿町）
まるで日本画家東山魁夷の、御射鹿池を描いた絵のようです。
（2024年10月撮影）by：蔵王のなりちゃん さん

鳴子 湯沼…（大崎市）
水の色は、見る場所で全然違って見えます。強い酸性ですが、カルガモが羽を休ませていました。
（2024年10月撮影）by：やくらいっこ さん

多賀城南門…（多賀城市）
木々の緑と再建中の城を取り入れて撮影した1枚です。
（2024年10月撮影）by：しゅんきち さん

鬼首 すすき野原…（大崎市）
きれいで、のどかで、すごくステキです。
（2024年10月撮影）by：おとだ さん

栗駒山…（栗原市）
中央登山道と東栗駒登山道の合流点を望む。最高のコントラストでした。
（2024年10月撮影）by：A.コウ さん



薬師堂…（仙台市若林区）
境内イチョウの落葉で黄色いじゅうたんになり、最高に秋を感じる場所です。
（2024年11月撮影）by：タガジョウのササキさん さん

蔵王連峰 屏風岳…（蔵王町）
残雪の残る屏風岳はまさに絶景！ゼブラ模様の山容がカッコイイ！
（2024年5月撮影）by：mm さん

「みやぎ米」メッセンジャー サントウ・ヴィッキマン

うまさにいちず みやぎ米
ひとめぼれ
SASANISHIKI ササニシキ
だて正夢
つや姫 宮城県産

JAグループ宮城
https://www.m-hozenmai.jp うまさにいちず みやぎ米 検索

WEBからご購入できます！
JAタウン タウンショップ みやぎ

企画・制作／河北新報社営業局